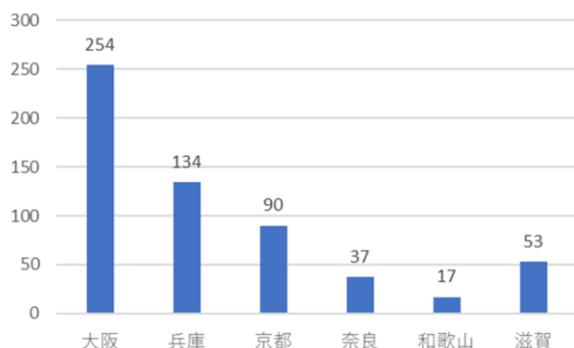


近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況

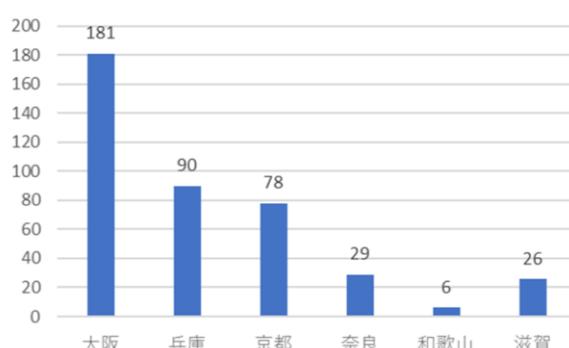
研究分担者： 大阪大学大学院医学系研究科 望月秀樹

2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(依頼状況)

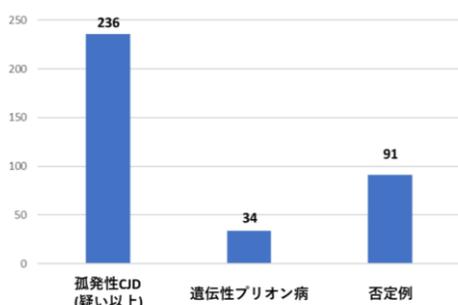


各府県調査依頼状況(計585件)

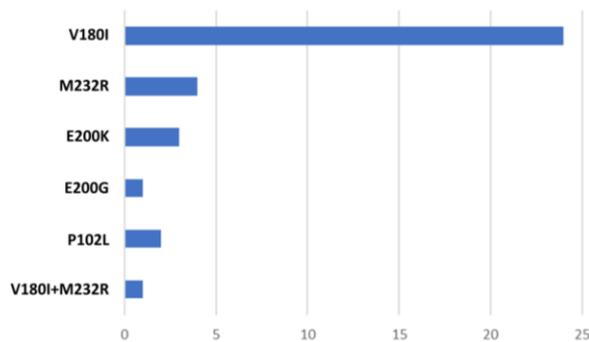
2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(調査済み)



各府県調査済み状況(計410件)



累計の診断内訳



遺伝性プリオン病の内訳

解説

1. 2015年以降、近畿ブロックでは計585例分の調査依頼があった。
2. 528例中410例(70%)から調査結果の回答を得た。
3. 410例中 361例(88%)は診断済みで孤発性CJD 236例、遺伝性CJD 34例、否定例 91例であった。
4. 遺伝性プリオン病ではV180Iが24例と最多であった。